

伝説の洋画家たち  
NIKA 100  
ANNIVERSARY  
二科100年展

■チケット情報

入場料(税込)	一般	学生	高校生	65歳以上
前売・団体券	1,300円	1,000円	600円	800円
当日券	1,500円	1,200円	800円	1,000円

※前売券は2015.4/15(水)~7/17(金)までの販売。  
 ※団体割引の対象は20名以上。  
 ※中学生以下は無料。  
 ※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と  
 その付添いの方(1名まで)は無料。  
 ※8/19(水)はシルバーデーにより、65歳以上の方は無料。当日は混雑が予想されます。  
 ※毎月第3土・翌日曜日は家族ふれあいの日により、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住)は  
 一般当日料金の半額。  
 ※いずれも証明できるものをご持参ください。  
 ※都内の小学・中学・高校生ならびにこれらに準ずる者とその引率の教員が学校教育活動として観覧  
 するときは無料(事前申請が必要)。

【チケット取り扱い】 \*手数料がかかる場合があります。

- 東京都美術館内ミュージアムショップ
- 公式ホームページオンラインチケット… <http://www.nika100th.com/>
- フジテレビダイレクト… <http://fujitvdirect.jp/>
- チケットぴあ… 0570-02-9999 [Pコード:766-686]
- ローソンチケット… 0570-084-003 [Lコード:38732]
- イープラス… <http://eplus.jp/>
- セブンチケット… セブンイレブンの店内マルチコピー機にて「二科100年展」で検索

●ほか主要プレイガイド

■お問合せ

お問合せ：03-5777-8600 (ハローダイヤル)  
 公式サイト：<http://www.nika100th.com> [伝説の洋画家たち](#) [検索](#)  
 ツイッター：@nika100th

■巡回情報

大阪展 2015.9/12(土)~11/1(日) 大阪市立美術館  
 福岡展 2015.11/7(土)~12/27(日) 石橋美術館  
 ※開催会場によって、出品作家・作品は一部異なります。

■関連イベント/講演会

●記念講演会

日時：7/18(土) 14:00~15:30  
 講師：田中 良(公益社団法人 二科会 理事長)  
 吉野 毅(公益社団法人 二科会 常務理事)  
 内容：二科会の絵画部・彫刻部を代表する2人をお招きし、  
 これまでの二科会の歩みや作家の足取りについてお  
 話します。  
 会場：東京都美術館 講堂  
 定員：先着225名  
 ※当日13時より講堂前にて整理券を配布します(定員になり次第受付終了)  
 ※聴講無料。ただし、本展観覧券(半券可)が必要です

●イブニング・レクチャー

(学芸員又は二科会による展覧会の見どころ解説)  
 日時：7/24(金)、7/31(金)、8/7(金)、8/14(金)、8/21(金)、  
 8/28(金) 各回とも19:00から約30分  
 会場：東京都美術館 講堂  
 定員：各回先着225名  
 ※各回とも18時40分より開場します(定員になり次第受付終了)  
 ※聴講無料。ただし、本展観覧券(半券可)が必要です

●同時開催の企画展

[ノルウェーから東京・上野へ!]  
 キュッパのびじゅつかん—みつめて、あつめて、しらべて、ならべて]  
 会期：7/18(土)~10/4(日)  
 会場：東京都美術館 ギャラリーA・B・C  
 ※本展のチケット(半券可)提示にて一般料金の800円より  
 300円引きになります。高校生以下無料

■音声ガイド



貸出価格：520円(税込)  
 解説時間：約30分

ナビゲーター  
 石坂 浩二さん(俳優)

■会場



東京都美術館  
 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36 <http://www.tobikan.jp>

- JR上野駅「公園口」より徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
- ※駐車場はございませんので、車での来館はご遠慮ください。

日本美術史の開拓者たちが、ここに集う。

伝説の洋画家たち  
 NIKA 100 ANNIVERSARY

二科100年展

LEGENDARY ARTISTS OF JAPANESE WESTERN PAINTING  
 THE CENTENNIAL OF THE NIKA EXHIBITION

2015.7.18 SAT - 9.6 SUN 東京都美術館 企画展示室  
 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM 東京・上野公園

9:30-17:30 金曜日は21:00まで ※入室は閉室の30分前まで [休室日] 月曜日、7/21(火) ※ただし7/20(月+祝)は開室  
 主催：東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 公益社団法人二科会 / 産経新聞社 / フジテレビジョン 協賛：大仲社 協力：BSフジ

Legendary artists of Japanese Western Painting The Centennial of the NIKA Exhibition

A major event occurred in the Japanese art world in 1914. Prior to this, a group of Western-style artists had become dissatisfied with the system of selection for the government sponsored Bunten exhibition (Ministry of Education Art Exhibition) and when their request for the establishment of two sections, old and new, was turned down they left the Bunten to establish a non-government, open exhibition. The result was the Nika [two-section] Exhibition, organized by the Nika Association, which was established for this purpose. Ever since, the Nika Association has maintained a reputation for always presenting progressive works and has given birth to numerous new splinter groups. Apart from a short period during WWII, the Nika Exhibition has been held every year and this year marks its centenary. In commemoration of this fact, the exhibition will look back over the development of the Nika Exhibition, which has remained at the forefront of the times for last one hundred years, dividing it in four sections: "the pioneering years", "infancy", "development and dissolution", and "revival". Simultaneously, it will serve to highlight the Nika Association's significance within modern and contemporary Japanese art history.

Period: July 18(sat)-September 6(sun), 2015 Opening Hours: 9:30-17:30(9:30-21:00 on Friday) \*Admission until 30 minutes before closing time Closed: Mondays, July 21(Open the Monday of July 20)  
 Venue: Tokyo Metropolitan Art Museum(8-36 Ueno Koen, Taito-ku, Tokyo) Admission: General 1,500(1,300)yen / University students 1,200(1,000)yen / High-school students 800(600)yen / Senior(65 and older) 1,000(800)yen  
 (\*): Discount for advance purchase and group ticket over 20 people \*Admission free for visitors junior high school age or younger



# 全国の70を超える美術館・所蔵者から名作が上野に集結！

1914(大正3)年、日本の美術界で大きな出来事が起こりました。文部省美術展覧会(文展)の鑑査に不満を抱いた洋画部の一部の画家たちが、新旧二科制設置を文部省に願い出ますが聞き入れられず、ついに文展を離れ在野の公募展を立ち上げたのです。そうして結成された「二科会」は、同会主催の美術展を開催することとなります。それが「二科展」のはじまりです。以後、常に先進的な作品を発表することで話題を提供してきた二科会からは、多くの分派も生まれました。戦時中の一時期を除いて、毎年継続されてきた二科展は今年で100回という節目を迎えます。それを記念して開催するこの展覧会では、常に時代を先取りしてきた二科展の100年の歩みを草創期、揺籃期、発展そして解散、再興期の4期に分け、あらためて明らかにします。それはまた、日本近現代美術史における二科展の意義を浮き彫りにすることにもつながるでしょう。

藤川勇造



01



02

東郷青児



03

鈴木信太郎



04

有島生馬

佐伯祐三

萬鉄五郎



05



06

藤田嗣治



小出檐重

13



15



安井曾太郎

14



岡本太郎

12



古賀春江  
村山槐多

11



10



09



07

関根正二

坂本繁二郎



08

彼らがいたから、これからがある。

二科100年展

LEGENDARY ARTISTS OF JAPANESE WESTERN PAINTING  
THE CENTENNIAL OF THE NIKA EXHIBITION

有島生馬 石井柏亭 梅原龍三郎 岡本太郎 岸田劉生 北川民次 国枝金三 国吉康雄 熊谷守一 黒田重太郎 小出檐重 古賀春江 児島善三郎 佐伯祐三 坂本繁二郎 里見勝蔵 関根正二 津田青楓 東郷青児 中川一政 中川紀元 鍋井克之 長谷川利行 林武 藤川勇造 藤田嗣治 堀内正和 正宗得三郎 松本竣介 村山槐多 安井曾太郎 山口長男 山下新太郎 湯浅一郎 吉原治良 萬鉄五郎 ザッキン ジェレニエウスキー マティス ロートなど

- 01. 藤川勇造《マドモアゼル・スザンヌ》第10回展(1909年 東京国立博物館蔵)
- 02. 東郷青児《ピエロ》第15回展(1926年 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館蔵)
- 03. 鈴木信太郎《象と見物人》第17回展(1930年 財団法人そごう美術館蔵)
- 04. 有島生馬《鬼》第1回展(1914年 東京都現代美術館蔵)
- 05. 萬鉄五郎《もたれて立つ人》第4回展(1917年 東京国立近代美術館蔵)
- 06. 佐伯祐三《新聞屋》第15回展(1927年 個人蔵)
- 07. 関根正二《姉弟》第5回展(1918年 福島県立美術館蔵)
- 08. 坂本繁二郎《放牧三馬》第19回展(1932年 石橋財団石橋美術館蔵)

- 09. 岸田劉生《初夏の小路》第4回展(1917年 下関市立美術館蔵)
- 10. 村山槐多《庭園の少女》第1回展(1914年 福島県立美術館蔵)
- 11. 古賀春江《素朴な月夜》第16回展(1929年 石橋財団石橋美術館蔵)
- 12. 岡本太郎《重工業》第34回展(1949年 川崎市岡本太郎美術館蔵)
- 13. 小出檐重《帽子をかぶった自画像》第11回展(1924年 石橋財団プリネストン美術館蔵)
- 14. 安井曾太郎《玉蟲先生像》第21回展(1934年 東北大学史料館蔵)
- 15. 藤田嗣治《メキシコに於けるマドレーヌ》第21回展(1934年 東京都国立近代美術館蔵)

■展示構成

1 草創期  
第1回～第6回

2 揺籃期  
第7回～第20回

3 発展そして解散  
第21回～第30回

4 再興期  
第31回～